

ねいむおん

名前を読み解き幸せのテイクアウト



夏が終わり子供たちは進路と向き合う!!

そこで親が気をつけるべき向き合い方とは!?

《名前学から見る捉え方スペシャル》

家庭、職場、学校などで起きる『マウント』

進路の時期が！

夏休みが終わると進路を決める時期！
体育会系の部活で頑張っていたのなら、
部活漬けの毎日から解放されて、少し
時間のゆとりも出来る頃。しかし部活で
気持ち燃え尽きて、すぐに頭が切り
替わらない時期でもあります。

次は机に向かい成績表と睨めっこ…
様々な状況の中、なぜ勉強をしなければ
ならないのでしょうか。

自分の進む未来に近づくために進学を
選択したのなら、入学のための試験が
あるからです。少しでもレベルの高い
学校に行きたい、今の成績では合格に
届かないかもしれないとなると、尚更
勉強に力を入れなければいけません。
受験に向き合う時間は長い人生から
見たらほんの少し。

けれど常に楽しいわけではありません。
その学校を選んだ理由や合格を手に
するためには何をすればいいのか。
また、学校に楽しさを求めている子
とにかくパッと飛びついて頑張る子。
目標に向かってコツコツ続けられる子。
コツコツが苦手な子。

考え過ぎると上手くいかない子。
思いが明確にある子。
お子さんの特徴を見定め、親の思いは
少し隠して、背中を押してあげられたら
いいですね。
その学校に通うのは親ではありません。
お子さん自身です。

行きたい学校は決まっていますか？
それはお子さん自身が決めた学校ですか？

名前学の観点から見る『マウント』について考える

マウントってどんなイメージがありますか？

「マウントをとる」とは、
自分が相手より優位にあるとアピールする行為
調べてみるとこんな感じですよ。

家族間、職場、友人関係において
マウントを取らなければならぬ環境に身を
置いている場合、自分が変わる努力をしない
限りは何も変化はありません。

しかしながら名前学においては
ちよつと違う捉え方をすることもあります。

私事ではありますが、結婚を期に苗字が変わり
家族が増えて10年。

何をそんなに怯える必要があるの？

という日々を送ってきました。

名前学に出会ってから時間は経ちますが、
つい先日も・・・汗。

結婚前の私と結婚後の私
大きな違いがありました。
誠実且つ、プレッシャーに強い独身時代。

結婚してからは

自分の家族が増えて、手探りで前進して
いかなきゃいけないのに、繊細で感受性豊か、
気分屋で勝手に上がっては勝手に落ちる。
常識人から宇宙人の仲間入り！

こんなに変化した自分自身を知らずに
生きてきた10年の中で築き上げてきた

ものこそがマウントを取られるという
『負の感情』

この変化に気がついた時に
マウントを取ってるつもりは無いけど
そう見えちゃう人がいること。

逆に自信がなく不安を抱えている方は
マウントを取られた気分になることも。

自分の強みと自分の弱さを知ることが
これからの時代に
とても必要だと感じます！

大手企業、子会社

上下関係がある世の中だからこそ

上を目指して頑張るのかもしれないけど

大手企業も、子会社も

横並びの時代がきたら…

ドラマの台詞も変わってきてますね！

先輩に対して後輩が

『次は私のターン（順番）なので！』

と、先輩の会話を止めちゃう時代

名前学で出来ることは、捉え方を
間違わないように導くこと！

目の前の言葉1つに

一喜一憂してしまう弱さ…

逆に弱い方の気持ちが
分かりにくかったり…

自分や相手の弱みを知ると
マウントも気にならなくなりますよ。

【編集後記】

すぐ先に終わりがあると思っていたコロナ禍は
ゆっくりと姿を変え、様子を変え2年半。
マスクで相手の表情が見えない中、子ども達の
気持ちは健全に成長しているのでしょうか。
そんな事を心配しながら、名前学を広めるため
みなさんのお名前と向き合う日々が続きます。

名前学鑑定師 yuuco

名前学は、子ども達が名前を教科書開いて
学校で学んでいる未来の創造を目指しています！

名前学を学びたい生徒さんも随時募集しています。

一般社団法人名前学協会
160-0006

東京都新宿区舟町4-1メゾン・ド四谷803

名前学協会
公式LINE



発行元：一般社団法人名前学協会